



会長 小林 幹夫 青少年奉仕 橋本八右衛門  
副会長 道尻 誠助 幹事 正部家光彦  
クラブ奉仕 道尻 誠助 会計 佐々木泰宏  
会長エレクト 紺野 広 会場監督 峯 正一  
職業奉仕 妻神 和憲 直前会長 小井田和哉  
社会奉仕 地代所久恭 副幹事 松本 剛典  
国際奉仕 中村 稔彦 会計補佐 山村 和芳

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル  
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内  
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661  
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp  
http://hachinohe-rotary.org/  
会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 荒谷 達也  
同委員 廣田 茂 同委員 道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022~23 — 八戸ロータリークラブのテーマ  
イマジン ロータリー ロータリーの力を信じよう!

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小林 幹夫

## 10月 は 米 山 月 間 で す

第3246回例会

2022.10.19

### ▶ ゲスト

地区米山記念奨学委員会委員

平野 榮子さん (八戸北)

米山奨学生 弘前大学食料資源学科4年

マレーシア <sup>チェン</sup> <sup>ロンジョン</sup> 鐘 鎔駿さん

### 会長要件 道尻 誠助 副会長



秋の追っかけっこが始まっています。山を見れば紅葉が始まったり、お酒を飲んでいる人を見れば顔がこうようしたり。自然の方にも目を向けていただければと思います。

小林会長が所用で参加できませんので、メッセージを預かっています。代読させていただきます。

「皆さんおはようございます。本日はたいへん申し訳ありませんが、仙台国税局との会議がありまして例会は出ることが叶わず、会長要件を道尻副会長にお願いすることになりました。本年度2回目の欠席となります。申し訳ございません。

10月は米山月間です。当クラブでは従来から毎年この月に米山奨学生をお呼びしていますが、コロナ禍により中止やwebでの開催でした。今回3年ぶりに米山奨学生に八戸においていただき、生の声を聞くことができることとなり、嬉しく思います。この卓話を機に米山奨学生に対するご寄付をよろしく願いたします。」

### 表彰

ロータリー財団PHF③ 道尻誠助さん

### 幹事報告 正部家光彦 幹事



○10月24日は世界ポリオデーです。世界ポリオデーにちなみ、当クラブでも皆様から1,000円ずつの寄付を頂戴したいと思っております。各テーブルに封筒があると思いますので、1,000円のご寄付ご協力をよろしくお願いいたします。

## 委員会報告

親睦・会場委員会

増田 敏委員



○ニコニコボックスの報告

- ・誕生祝 橋本八右衛門さん
- ・奥様誕生祝 広瀬知明さん  
道尻誠助さん チェンロン  
ジュンさん、平野さんよろ  
しくお祝いします。

佐々木泰宏さん 来週情報委員会担当例会で  
す。ロータリーの情報満載  
です。ぜひご参加下さい。

小井田和哉・奈良全洋 } ニコニコデー  
小田山紀暢さん

米山奨学生 <sup>チェン ロンジュン</sup> 鐘 鎔駿さん 国籍マレーシア  
弘前大学4年生 食料資源学



皆さんこんにちは初めまし  
て。後ほど自己紹介をしたい  
と思います。まずきょうの発  
表の流れを説明していきたい  
と思います。よろしくお願  
いします。

今日の流れは自己紹介、そして弘前  
大学での勉強と今までの留学生活と近況報告  
です。

マレーシア出身です。マレーシアは地球の  
赤道のちょうど真上にある常夏の国です。マ  
レーシアはインドネシアとタイの間です。ほ  
くの出身はペナンで、タイに近いところなの  
で、車で2時間くらいでタイに行けます。言  
葉はマレーシアのオフィシャル言語はマレー  
シア語、イギリスに侵略されたことがありま  
すのでイギリス英語もしゃべれます。中華系  
出身なので漢字の名前を持っています。曾祖  
父は中国人で仕事の関係でマレーシアに来て、  
お爺さん、ほくもマレーシア出身です。

パスポートに載っているフルネームはチェ  
ン ロン ジュンです。チェンは苗字、ロン  
ジュンは名前です。生まれは2000年10月14  
日で、今年弘前大学の4年生になります。幸  
いなことに、今年の4月にロータリー奨学生に  
なり、いろいろ皆さんからの支援をいただき  
て、ありがとうございます。

今までの留学生活ですが、2018年4月に初  
めて日本にきました。その時に東京の日本語  
学校、アジア文化学生協会という日本語学校  
に1年間通いました。その後、2019年4月に  
弘前大学に入学しました。所属は農学生命科  
学部食料資源学科で、4年生の今年2022年は  
食品科学コース分子栄養研究室に所属してい  
ます。

食品栄養学が専門です。それは栄養の過剰  
症や欠乏症、体内での消化や吸収。食べ物に  
よって生活習慣病を予防するのか。食料資源  
の衛生、品質管理などが食料資源の勉強です。  
ほくの勉強はどちらかというと、体内での消  
化吸収に注目しています。

ほくの研究テーマについてお話しします。後  
ろの背景は白神山地の青池ですが、ほくの研  
究は白神山地で成長している木肌から分離さ  
れた乳酸菌についての研究です。その乳酸菌  
はL8N株。マウスを使って動物実験で餌を  
投与して、筋肉の成長にどのような影響を与  
えるかについての研究です。

わたしの留学生活の必須テストですが、こ  
れは私費留学生の必須テストです。日本政府  
が私費留学生に対してのセンター試験のよう  
なものです。科目は日本語、数学と、理系な  
ら化学、生物、物理の3つのうちの2つ、  
文系なら総合科目とって日本語満点400点  
で、小論文50点。ほくの得点は日本語321  
点、小論文50点のうち45点でした。数学は苦  
手で200点満点の127点しか取れませんでした。  
生物系の勉強ではなかなか数学を使わない  
ので、だんだん忘れてきました。理系の勉  
強ではほくは生物と化学をしましたが、点数  
があまりよくなく、もうちょっとで弘前大学  
に入れなかったかと思いました。幸いなこと  
に入って良かったです。

弘前も大好きです。八戸に来るのは初めて  
です。青森県は確かに寒いですが、もう4年  
目なので、もうすっかり慣れて好きになりま  
した。津軽弁に訛ってきました。八戸に来て  
から気づきましたが、こちらは津軽弁じゃな  
いですよ。弘前でアルバイトをしながら、  
津軽の友だちもいっぱいいるので、それで

訛ってきました。

留学生がみんな取っている日本語能力テストですが、難易度で一番優しいのはN5、一番難しいのがN1です。それぞれのテストを受けて、いい点数を取ると奨学金や学歴金が来ます。満点だと月4万円くらいの奨学金が半年来るらしいのですが、ほくはそんなにすごい点数ではありません。ほくはN1です。120満点で100点取れば合格です。N2以降は90点取れば良かったのですが、N1だけは難しく、合格点数が100点ですが、頑張っ合格しました。

皆さんが一番気になることだと思いますが、留学生に日本に留学するにあたって、一体どのくらいのお金がかかるのかについて説明します。日本語学校に1年間通いました。日本語学校によって学費が違ってきますし、コースによっても違ってきます。ほくは1年間だけのコースで、年間学費が72万円でした。弘前大学は国立大学なので53万円ですが、成績によって免除されることがあります。どの基準で免除しているかわかりませんが、同じ学年の平均以上でないと申込することができません。ほくの学年ではほくが唯一の外国人留学生なので、平均以上の点数が取れるくらいで申し込みをすることができ、75%免除されて年間13万円くらいを払っています。

毎月の支出は東京で1年間過ごし、その後ずっと弘前です。どちらかという弘前の方が長いので弘前の支出について説明します。家賃は36,000円、共益費を含んでいます。共益費がありがたいと思うのは、雪かきをしてくれます。水道・光熱費は夏と冬でとても違います。寒がりです。特にマレーシアは常夏の国なので、冬どころかずっと一年中温かいので、ここに来て慣れなくて、慣れなくて。ストーブをつけたり、一生懸命お風呂に入ったり、体を暖めようとした結果、ガス代がとんでもなくなりました。

保険は家を借りるために火災保険に加入しなければいけないので、月に3,300円くらい。プラス国民保険が+a。食費は自炊することで食費をけっこうコントロールすること

ができます。月に5万円というのは、外食が多くて2回くらいだと5万円くらいに抑えることができます。合計で月に10万円を超えるので、足りない部分は自分でアルバイトで頑張っ補えます。アルバイトをしすぎると、今度学業に集中できなくなります。本当にお陰様で月10万円の奨学金をいただいて、やっと自分が好きなものをする事ができ、アルバイトのシフトも減らすことができました。

両親の毎月の給料について。マレーシアのお金の単位はリングギットです。お父さんとお母さんの基本給を合わせて24万円しかありません。家族の生活と弟一人いるので、ぜんぶのお金を自分に使ってはいけないので、アルバイトで本当に頑張りました。

マレーシアの教育システムを紹介します。7歳~12歳は小学生です。これは日本と変わらないです。最終試験UPSRを受けて、点数によってどの中学校に入るかが決まってきます。なぜ中学校かという、日本だと中学校1~3年生、高校1~3年生の6年間ですが、マレーシアの教育システムは特別で、中学校しかなく、しかも合わせて5年間しかありません。そして義務教育もその中学校5年生までなのです。

システムは同じく13歳で中学校入学。16歳(中学4年生)で文系と理系に分かれます。分かれてすぐ翌年、17歳(中学校5年生)で最終試験があります。日本でいうセンター試験が中学校5年生でSPMが行われます。SPMの点数によって大学に進学するかどうか決まっています。点数があまりにもひどすぎると、そのまま大学に行かないですし、私立大学に多めのお金を払っていくのか、皆それぞれです。一番普通なのは、義務教育ではないのですが、そのまま進級して中学校6年生。中学校とはいいますが、大学の予備学校のような感じです。1年半なので全部で2年間。マレーシアで普通に中学校6年生までいくと、大学に入るのが1年間遅いです。

ですので、ほくの場合は日本に来て、中学校5年生までなので、日本の大学に入るのに



1年間足りません。その1年間を満たすとともにEJUという試験、私費留学生向けの日本のセンター試験を受けるために、日本語学校に1年間通いました。そして19歳で、日本人の学生と一緒に大学1年生になりました。マレーシアの義務教育は17歳の中学校5年生までしかありません。

ぼくの近況報告についてお話しします。7月25日をもちまして、3回目の動物実験が終わりました。ぼくの動物実験はマウスを使ってやっているので、1回につき3週間～4週間の飼育で、解剖をします。解剖して内臓を保存しておいて、後でアミノ酸や遺伝子の分析をして論文を書きます。7月25日に解剖して、やっと8月1日に2年間ぶりに帰省できました。例のことで帰れなくて、本当に懐かしくて、懐かしくて、帰ってよかったと思いました。写真もいっぱい撮ってきました。

ロータリー米山記念奨学金をいただいて、アルバイトのシフトを減らして、研究にも専念できました。そして自分の趣味のジムに通い、今、筋トレを頑張っていて週4回頑張っています。筋トレして今3か月目の結果を発表します。

マレーシアに帰ってお母さんが料理を作ってくれました。うちの家族は野菜多めです。お母さんはあまり肉を食べられません。別に宗教によるものではなく、肉の臭みが無理のようです。ぼくもお母さんと同じように肉をあまり食べなかったのですが、日本に来て肉が多い。そしておいしい。食べるようになりましたが、生ものはまだダメです。よく言われるのが、せっかく青森県まで来たのに生ものを食べれないのはもったいないと、よく言われます。ですが、やはり常夏出身のぼくはそういう体の作りなので、もったいないけれど、おなかを壊すよりは食べないほうがいいかなと思います。

お母さんの作ったパイナップルのチャーハンです。これはパイナップルの果肉と一緒に

チャーハンに入れて炒めて、パイナップルを器として使っています。

家族の写真です。ぼくは小さいときに両親が共働きなので、ぼくの世話をしてくれるのがおばあさんでした。母方のおばあさんです。今年73歳になります。いろいろ体の不便なところが出てきて、心配で帰りましたが、まあ元気そうで良かったです。6歳下の弟は今年中学校4年生です。

マレーシアはけっこう海に近い。半島なのでけっこう海鮮も多いですが、やはり刺身はできません。なぜなら昔からそういう習慣がなかったのです。昔は冷蔵庫がなく、港から獲れた魚を内陸に運ぶのに時間がかかるので、その時間だけで魚は腐ってしまっておなかを壊してしまう。日本だと冬があり、刺身を食べる習慣もありますが、マレーシアではそもそもおいしい魚がそんなにないし、そういう習慣もないので、生ものを食べない人がほとんど。なので、ぼくもすみませんが、今のところ生ものはまだ無理です。

お父さんの会社に手伝いに行きました。容器の中にワニが入っています。お父さんの会社は水の質を検査する仕事です。いろんなところで水のサンプルを取って、この水の質を分析して会社に報告をします。その中の1つはワニたちが住んでいる水の水質を測るのが仕事です。ワニが入っているので、排水口から水サンプルを取って、研究室に持っていくのが仕事です。ぼくはあまりにも怖く、隣で立っていて、恥ずかしながら、仕事はほとんど叔父さんがやってくれました。

父方のおじいさんとおばあさんの写真、これはおばあさんの誕生日に撮った写真です。父方の家族は大きな家族です。7人兄弟でお父さんは5人目です。ビデオでおばあさんの誕生日の雰囲気を感じてください。ろうそくの火を消そうとして、口で吹くのが良くないと、紙のプレートで消しました。

以上卓話でした。ご清聴ありがとうございました。